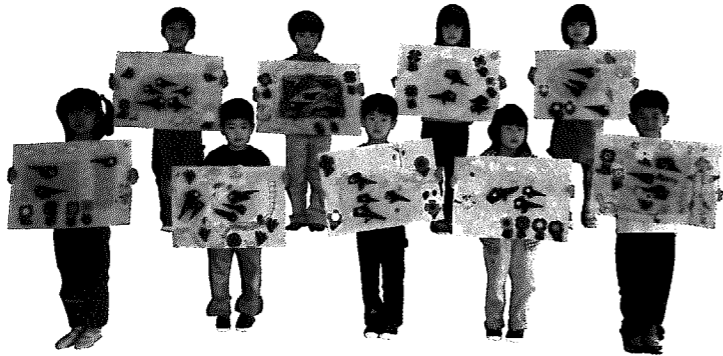


岩室ネットワーク

皆さんからの情報を募集しています。
地区内行事、ボランティア活動など何でもOK!
企画調整課 ☎82-5728 までご連絡ください。

ぼく★わたしの 自信作

●和納保育園 五歳児
〈作品名〉おたまじゃくしと遊ぼう



■後列左から：はやしたくとくん、たけうちりょうたくん、たけうちもえかちゃん、たかはしなみちゃん
■前列左から：さとうはるかちゃん、あいざわたつみくん、とんしょつばさくん、こやまさえこちゃん、つきおかしょうたくん



和小で田植え体験

米づくりの喜びと、食物に感謝する気持ちを学んでもらおうと先月7日、和納小5年生による恒例の田植えが行われました。裸足で入った子どもたちは「ヌルヌルしてるけどけっこう気持ちいいよ」といいながら苗を片手に植え始め、慎重にゆっくり進む子やとんとん前に入る子、足を滑らせて転んでしまう子など“元気いっぱい”の光景が広がっていました。



▲なかなかむずかしいなあ

ボランティア



五月晴れとなった先月2日、弥彦スカイラインの間瀬側入り口にある広場で更生保護婦人会のみなさんによる花だん整備のボランティアが行われました。

この活動は十数年前から毎年数回行われているもので、そもそも始めたきっかけは「この場所が暴走族のたまり場だったから。」と代表の斉藤ヒサ子さん。「多いときには夜中に200人位集まったこの場所は、いつもゴミだらけで夜中に通る人が怖がる所でした。そこでここに来る人たちが少しでも心なごむようにと花木を植え始めたのですが、最初のうちは踏みつぶされてなかなか育ちませんでした。でも、続けているうちに、だんだん花木が育っていき、育つとともに暴走族も減っていききました。これからも続けていこうと思います。」と、今年も手際よく花だんの草取りを行いました。
花や木は私たちにとても大事なものです。



鮮やかな花の色で村を彩る...

先月14日、初夏を思わせるような太陽のもと商工会女性部による花いっぱい運動ボランティアが行われました。毎年恒例となっているこの活動は、小中学校や各保育所にマリーゴールドやペコニアなど色とりどりの花を配っているもので、今年は新しくできた地下道に花のプランターも設置します。また、アルミ缶を回収し中学へ運んだり、温泉病院に古い布を持って行ったり他にもさまざまな活動を続けているものです。「花いっぱい運動は十数年前から始めました。参加するみなさんはお忙しい人ばかりなので、苗分け、苗配り、草取りなど、手際よくテキパキと作業をこなしていただいています。」と、お話をうかがった女性部長の大岩幸子さんを筆頭に、参加された24名のみなさんは各班に分かれて作業を行った後、岩室ホテルの発生地に集合し、草刈り作業を行いました。これで今年もホテルの輝きを一層楽しめそうです。

みなさんお疲れ様でした。

広報いわろろにあなたが写っていました。企画調整課へご連絡をください!写真を差しあげます!!

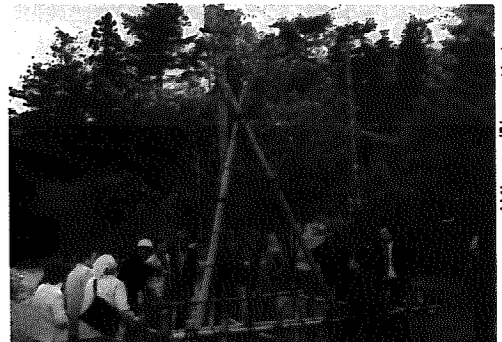
▶長岡藩から贈られたと思われる台八車



お救い米の資料がズラリ

～「米・百俵の礎」岩室治水物語PR館～

高畑・油島地内に建設されている新潟県オートリサイクル(株)事務所2階に、このほど岩室治水物語PR館が完成し、今月10日オープン予定となりました。手作りの資料館は、「米・百俵」の米は岩室産であるという証拠資料をメインに、三根山藩の塾で使用していた教科書、開墾の偉人薦部坊の資料や、その他多くの古文書や図面などが所せましと展示されています。これらの資料は、当時の農民たちの様子を現在に伝える貴重なものとして、村の郷土史研究において重要な存在となっています。みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



◀開花したアギシコギクザクラとそれを見守る人達

270年の時を越えて

～「アギシコギクザクラ」が丸小山で開花～

昨年の秋、丸小山に移植され大切に見守られてきた石川県天然記念物「アギシコギクザクラ」が100枚からの花びらをつけ小さくあでやかに咲き誇りました。この桜は、公民館が平成2年度から生涯学習のテーマとして取り組んできた「間瀬大工出稼集団」が本誓寺の建築に携わった際境内に植えたとされているもので、公民館では、昨年この先祖ゆかりの桜の花を一目見ようと村民を募って30名余りが当地を訪ね、苗木を譲り受けるという長年の夢が果たしたものです。
4月なかば桜の下に集まったみなさんは、子どもや孫を見るかのように優しいまなざしで無事の開花を喜び合い、今後は「桜を守る会」を作りみんなで見守っていくことを誓い合っていました。

▶おいしそうに牛乳を飲む岩室小2年生



100%岩室産の生乳で作りました!

～「岩室牛乳」が給食にお目見え～

村内小学校の給食に先月13日から「岩室牛乳」が登場しました。この牛乳は、生産者の顔が見えるモノを学校給食にと、岩室で飼育されている乳牛の生乳を100%使用し、オリジナルパックで製造したものです。「牛乳は自然の栄養バランス飲料。しかも地元岩室育ちの牛乳なら子どもたちの体にピッタリです。おいしくいただきます。」と給食センターの伊佐学校栄養士。新しい牛乳を口にした子どもたちにも「飲みやすくておいしい!」と大好評。今後は学校給食だけでなく温泉の旅館やホテル、宅配や小売店などにもお目見えする予定です。ぜひみなさんも飲んでみてください。



◀田んぼとたわむれる談志師匠

ここの米食うと、ほかの米は食べわえよ!

～さえわたる毒舌と手植えのテクニク～

先月19日、今年で8回目となった「談志の田んぼ植祭」が夏井ハザ木展望施設隣の田んぼで行われました。あいにくの曇り空で少し肌寒い天候の中、到着した談志師匠は「俺は寒いのが好きなんだ。今日はちょうどいい!」と早速マイクを握り世相を風刺。サッカーワールドカップから中国総領事館問題まで幅広い話題で、取り囲んだファンを喜ばせました。
そのあと、いつものように裸足で田んぼに入り、苗を手にとると慣れた手つきで植え始め、久しぶりの感触を味わっていました。